

2. 事業内容

事業期間	令和	5	年	9	月	～	令和	5	年	12	月		
施工箇所	窓のみ												
実施事業	※複数の実施事業がある場合は全て選択して下さい												
	①	Low-Eガラス窓へ交換			②	選択して下さい			③	選択して下さい			
(その他の場合は下欄に記入して下さい)													
導入前の状況	竣工時から改修等の実績なし												
	<div style="border: 2px solid orange; padding: 5px; color: red; font-weight: bold;">                 複数の内容を入力する等、改行をする場合は「Alt」キーと「Enter」キーの同時押しで改行できます。                  ※スペースを連続で押すことで無理矢理改行すると、行のずれが発生してしまうため、ご注意ください。             </div>												
導入予定設備等	《導入予定設備》※複数の実施事業がある場合は全て記入して下さい												
		Low-Eガラス窓へ交換											
	メーカー	●●(株)											
	製品名	□□□□											
	色・種類	○○-▼▼											
	施工実施方法	既存窓から交換											
	《施工面積や範囲について》※複数の実施事業がある場合は全て記入して下さい												
	事業内容: 事務所の20箇所の既存窓を交換 [東面10枚(①) / 南面10枚(②)] 施工範囲: ①(東)1.2m×0.7m×10枚=8.4㎡ ②(南)1.4×1.2×10枚=16.8㎡ 計25.2㎡												
	《適合基準の確認》※入力シートに記入する全ての数値について記入して下さい												
	該当	規格	規格名、実証番号	区分	数値								
○	日本産業規格(JIS)	A4710	日射熱反射率	0.58									
	環境省の環境技術実証事業(ETV)		選択して下さい										
			選択して下さい										
○	国立研究開発法人建築研究所		熱貫流率	2.3									
			選択して下さい										
			選択して下さい										
			選択して下さい										
法定耐用年数	法定耐用年数 (複数用途がある場合、施工別に記入する)										屋根		年
											外壁		
											窓	10	
	導入前	導入後				CO <sub>2</sub> 排出削減予測量(合計)							
	0.55 t-CO <sub>2</sub> /年	0.28 t-CO <sub>2</sub> /年				0.27 t-CO <sub>2</sub> /年							

費用対効果	
0.918	t-CO <sub>2</sub> /百万円

### 3. 資金計画

#### (1) 事業費内訳

(単位:円)

区分	設備費・材料費			工事費	合計	
	単価	数量	計			
補助対象経費	窓ガラス(東面)	30,000	10	300,000	150,000	450,000
	窓ガラス(南面)	30,000	10	300,000	150,000	450,000
	消耗品・雑材料費			20,000		20,000
	値引き	-50,000	1	-50,000		-50,000
計(A)			570,000	300,000	870,000	
補助対象外経費	既設窓撤去費			200,000		200,000
	既設窓処分費			100,000		100,000
	廃棄物処理費			50,000		50,000
	諸経費			20,000		20,000
計			370,000		370,000	
小計	※ 見積書の合計額(税抜額)と一致させること				1,240,000	
消費税及び地方消費税額					124,000	
総事業費	※ 見積書の合計額(税込額)と一致すること				1,364,000	

(注) (1) 補助対象経費の区分欄は、導入事業ごとに記載し、その内訳が見積書で明確に確認できるようにすること。

(2) 「出精値引き」など、内訳が明確でない値引きについては、すべて対象経費から差し引くこと。

#### (2) 補助金申請額

##### ① 上限額

3,000,000

##### ② 補助対象経費の1/3

870,000 × 1/3 = 290,000

(A)



##### 申請上限額

290,000

①、②の低い額

暑さ対策入力シート及び計算結果シート

窓をLow-Eガラス窓へ交換する場合

I. 事業所概要

作成日 令和5年 6月 30日

1 対策事業所名  
事業実施場所 埼玉県 **さいたま市**

2 既存空調設備の冷熱源のCOP(成績係数)  
熱量効果計算における、既存冷熱源のCOP値は以下の一定値を使用する。  
本ファイルの効果計算ではCOP値の変更はできない。  
冷房用COP 3.55  
暖房用COP 3.95

3 当該施設の操業・営業時間  
月の平均営業・操業日数 **20**日/月  
一日の平均営業・操業時間 **8**h/日  
月当たりの平均操業・営業時間 160 h/月

赤丸で囲った部分が  
入力箇所です

II. 施工内容

対策部位の入力での注意点

1 対策部位 (対策する工事をクリックし選択する。)

※以下の「屋根・外壁・窓」のチェックについて、各列の遮熱と断熱の両方を選択できません。

- 屋根断熱
- 外壁断熱
- 窓断熱
- 屋根遮熱
- 外壁遮熱
- 窓遮熱

2 暑さ対策を行う屋根・外壁・窓ガラスの面積

暑さ対策を実施する屋根、外壁、窓の施工面積を記入する。施工しない場合は「0」を入力する。  
方位については、図1、図2を参考にすること。

表-2 各方位の対象面積

対策部位	方位	施工面積(m <sup>2</sup> )
屋根	—	
	北	
	北東	
	東	
	南東	
外壁	南	
	南西	
	西	
	北西	
	北	
窓ガラス	北東	
	東	8.4
	南東	
	南	16.8
	南西	
	西	
	北西	
	北	

方角ごとに施工面積を入力

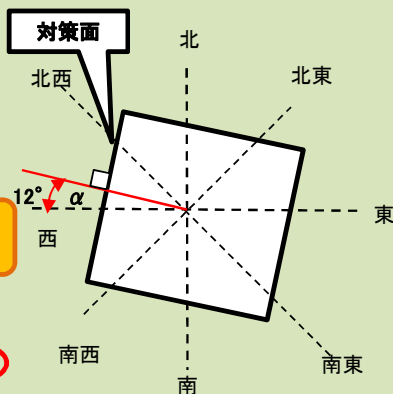


図1 方位の解釈の例1

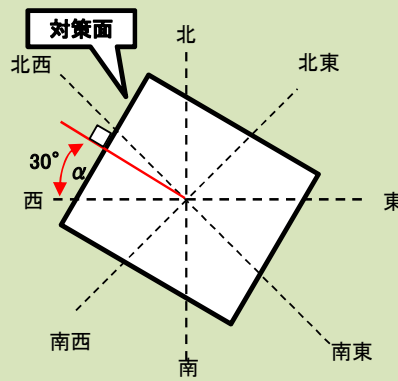


図2 方位の解釈の例

対策する面の法線(面に対して90度の線)と方角の角度αが22.5°より、小さい場合、この面の方角面(この場合は西向き)となる。  
図2の場合は北西面となる。

### Ⅲ. 対策後の熱性能(熱貫流率、日射熱吸収率)

#### 1. 屋根対策

※屋根の対策がない場合は、“デフォルト値”から変更しないでください。

屋根対策の入力での注意点

##### 1.1 断熱

表-3 暑さ対策による屋根の熱貫流率入力表

屋根の熱貫流率  W/(m<sup>2</sup>K)

★デフォルト値: 3.91W/(m<sup>2</sup>K)

##### 1.2 遮熱塗装

表-4 暑さ対策による屋根の日射熱吸収率入力表

遮熱塗装の日射熱吸収率

★デフォルト値: 0.7

入力値の簡易計算シートへ

#### 2. 外壁対策

##### 2.1 断熱

※対策を行う方位のみ数値を変更し、対策を行わない方位については“デフォルト値”のままにしてください。

外壁対策の入力での注意点

部位	方位	熱貫流率
外壁	北	1.18 W/(m <sup>2</sup> K)
	北東	1.18 W/(m <sup>2</sup> K)
	東	1.18 W/(m <sup>2</sup> K)
	南東	1.18 W/(m <sup>2</sup> K)
	南	1.18 W/(m <sup>2</sup> K)
	南西	1.18 W/(m <sup>2</sup> K)
	西	1.18 W/(m <sup>2</sup> K)
	北西	1.18 W/(m <sup>2</sup> K)

★デフォルト値: 1.18W/(m<sup>2</sup>K)

入力値の簡易計算シートへ

表-6 暑さ対策による外壁の日射熱吸収率入力表

部位	方位	日射熱吸収率
外壁	北	0.7
	北東	0.7
	東	0.7
	南東	0.7
	南	0.7
	南西	0.7
	西	0.7
	北西	0.7

★デフォルト値: 0.7

## 3. 窓対策

採用する遮熱フィルムやLow-Eガラス窓等のカタログで確認できる、適合基準を満たす熱貫流率及び日射熱吸収率（または日射熱取得率）の値を入力してください。

表-7 暑さ対策による窓の熱貫流率と日射熱取得率の選定表

窓対策の内容	熱貫流率	日射熱吸収率
デフォルト値	5.95 W/(㎡K)	0.876
単層高性能熱線反射相当	5.61 W/(㎡K)	0.490
複層(空気層6mm)Low-E(遮蔽)6t+透明6t相当	2.50 W/(㎡K)	0.415
複層(空気層12mm)Low-E(遮蔽)6t+透明6t相当	1.69 W/(㎡K)	0.408
遮熱フィルム及び上記以外(JISで示された値)	2.3 W/(㎡K)	0.58

注) 申請内容が「既存窓への遮熱フィルム施工事業」の場合は、以下のように入力してください。

熱貫流率：デフォルト値(5.95W/(㎡K)) / 日射熱吸収率(または日射熱取得率)：カタログ等の性能値

※[表-8]の入力について、対策を行う方位のみプルダウンより[表-7]内の該当する対策を選択し、対策を行わない方位については“デフォルト値”のままにしてください。

表-8 暑さ対策による窓の熱貫流率と日射熱取得率の入力表

★デフォルト値:

部位	方位	窓対策の内容	熱貫流率	日射熱吸収率	★デフォルト値:	
					熱貫流率	日射熱吸収率
窓ガラス	北	デフォルト値	5.95	0.876	5.95W/(㎡K)	0.876
	北東	デフォルト値	5.95	0.876		
	東	遮熱フィルム及び上記以外(JISで示された値)	2.3	0.58		
	南東	デフォルト値	5.95	0.876		
	南	遮熱フィルム及び上記以外(JISで示された値)	2.3	0.58		
	南西	デフォルト値	5.95	0.876		
	西	デフォルト値	5.95	0.876		
	北西	デフォルト値	5.95	0.876		

施工面積を入力した方角ごとに、設備の性能を入力